

ユネスコ協力會の國際的反響

昨年七月十九日初めて仙臺に生まれたユネスコ協力會はその後つぎのような國際的反響を呼んで、日本に芽生えたユネスコの芽を世界がいかに大きな關心をもつて見守つてゐるかを示した。十一月メキシコ市に開かれたユネスコ第二回總會で、一九四八年度よりユネスコは占領軍の諒解の下に、日本に對しても活動を開始すると決議したが、各國代表がこのように日本に對して注目し始めた原因の一つには、日本の民間に起つたユネスコ協力會運動の報道がよき影響を與えたものと信じられる。

ユネスコ協力會仙臺に結成

(ワシントン十一月十三日、USIS報道) —ユネスコは最近パリ本部に於て、仙臺の大學からユネスコ協力會結成報告の書信を受つたと發表した。

手紙は同協會長佐武氏よりユネスコ事務總長ジュリアン・ハツクスレー博士宛のものである。佐武氏は同協力會はユネスコに協力しようという熱心なる作家、科學者、教育家等に依り結成されたと述べている。

尙佐武氏は日本のユネスコ参加が許された曉には、日本國內委員會が結成されるであらうが、その日までに、ユネスコとその理想を理解するために、何らかの準備がなされなければならぬと述べている。

これについて、ワシントンのユネスコ關係者は、日本の参加問題はまだ出ていない。若しかゝる申請が提出されたとすれば、それはまづ國際聯合經濟社會理事會の承認を受けなければならぬと語つてゐる。

ユネスコからの便り

拜啓

あなた方が率先して日本で始めてユネスコ協力會を設立されたことを知つて、大變嬉しく存じます。私共はユネスコとその活動について、日本の新聞方面がどんな反響を示しているか興味をもつて見て居ります。

つきましては今後ユネスコの活動に關して日本の新聞に掲載せられた記事でしたら何でも結構ですから欲しいのですが、貴國に新聞切抜機關の様なものがあつたら御知らせ願ひたい。もし無かつたらこの仕事を引受けて頂き度い。尙日本に於ける主要紙の名稱住所も併せて御一報下さい。

敬具

一九四七年十二月五日

ユネスコ・ハウス・アジア部長

拜啓

去る七月二十日付けの貴信並に十一月二十七日付けの當方返信に關し去る十一月より十二月に亘りメキシコ市開催の第二回會合に於けるユネスコ總會の決議に鑑み、ユネスコ總長は、日本にユネスコの目的と活動を了解させる最上の方法を探究するために、近く日本の聯合軍當局に對し交渉を開始するだらうといふことをお知らせします。

此の交渉がなされ、決定が下されないうちは、ユネスコ協會が正式にユネスコによつて承認されないことを遺憾に思ひますが、しかし、私は貴協力會員にユネスコの活動がよくわかる様、ユネスコの各種刊行物を貴協力會に送るよう指令致しました。

一九四八年一月十三日

海外部長 アンドレ・デブローネ